

# 福島第一原子力発電所 3号機 燃料取出再開に向けた対応状況について

< 参 考 資 料 >  
2019年10月16日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- 昨晚（10月15日）、5回目となる3号機燃料取り出し前の準備作業を行っていたところ、燃料取扱設備のマニピュレータの左腕において、フランジプロテクタ を把持した状態で関節の角度を変える操作を行った際、角度を維持できず、下がってしまう状態を確認しました。（ 輸送容器の蓋を開けた際、蓋を結合するフランジ部分に異物が付着しないように設置するステンレス製の保護板）
- 今後、原因調査を実施し対策を講じる予定ですが、マニピュレータの右腕でもフランジプロテクタの取扱いは、構造上は可能であることから、今後準備が整い次第、右腕に先端ツール（掴み具）を装着して動作確認や動線確認を実施する予定です。この動作確認等の結果を踏まえ、燃料取り出し再開の日程を決定する予定です。
- なお、同マニピュレータの動作確認を行う際に、マストの水圧ホースの継手部から作動流体（水グリコール）が床面に滴下（30秒に1滴程度）していることを確認しました。水圧ホースと鋼管の接続部（継手）がわずかに斜めに入っていたことが原因であり、今朝、再接続を実施して滴下は停止し、マストが正常に動作することを確認しました。

マニピュレータ（手首の関節角度が維持できていない状況）

